

2016年度C日程二次募集（憲法）

出題趣旨

いわゆる安保法制が制定されたことにより、従来なかったタイプの紛争が生じることが予想される。志願制では起こりにくいとされている「良心的兵役拒否」事件も起こるかもしれない。この問題では「思想良心の自由」（19条）と自衛官（公務員）の義務の衝突問題を論じることが求められる。安保法制における最大の憲法問題である集団的自衛権について正面から論じることは求めるものではない。

講評

- ・公務員（自衛官）の職務上の義務と思想・良心の自由の衝突という設問事案の憲法問題を把握できていない答案がかなりあった。
- ・関連する基本的な判例（日の丸・君が代訴訟）を踏まえている解答もあったが、総じてこのような問題についての勉強不足が目立った。